

### 乾議員

#### 大蓮寺川改修と元禄線整備計画について

**問** 大蓮寺川の現川改修工事が下流側から始まっている。元町交番のところまではいつ完了の予定か。また、設計変更になったサンブラザ前から九頭竜川までの地下放水路、約820メートル間の工事の年次計画はどうなっているか。

**答** さらに本町通りから郵便局までの約100メートル間の歩道整備は、地下放水路工事が終了するまで現在の状態のままにしておくのが伺う。

**答** 施工の時期については、工事着手に向けてクリアしなければならぬ課題も多くあり具体的なスケジュールは示されていない。

このような中、市では平成23年度元禄線の本町通りから勝山郵便局前までの北側歩道を暫定的に仕上げたいと思っている。

#### 企業、商店の研究・開発への支援について

**問** 厳しいグローバル経済競争を勝ち抜くために、企業、商店は研究・開発への投資比率を高め、他にまねのできない独自の技術、商品を開発し、生き残る活路をみいだす

その他の質問

- ・大雪を振り返って一課題点―中部縦貫自動車道について
- ・和泉から油坂峠間―成器西小学校の太陽光発電装置の効果について
- ・学校のトイレの洋式化について

ことに必死である。行政として強力に支援することは喫緊の課題であり非常に重要。特に若い後継者の育成が大切。どのように考えるか所見を伺う。

**答** 昨年、「勝山市ものづくり技術・研究開発支援事業」を創設し、研究開発や販路開拓を目指す事業者の支援策を立ち上げた。

1年が経過し少しでも使いやすいものとなるよう、制度の一部を改正して施行する予定をしている。今後この制度の周知徹底、中小企業相談所等との連携による指導力の強化を図るなどして取り組んでいきたい。



### 松山議員

#### 歴史資料の保存と活用について

**問** ①勝山市の歴史・文化資産を継承するために、資料の情報をデジタル化して整理・統合・保存し、これらの資産をデータベース化し、効果的に管理・運営するデジタルアーカイブに取り組むべき。

②過疎や少子化等で担い手がいなくなり、コミュニティから記憶が消えつつある。勝山弁などの記録やエコミュージアムにより再発見された遺産もデータベース化に取り組むべき。

**答** ①貴重なフィルム映像等の資料はデジタルでの記録保存に努め、積極的な公開と活用に向けて関係機関とも連携した取り組みを進めていきたい。

②関係課及び勝山市エコミュージアム協議会とも連携を図りながら、収集保存について研究していきたい。

#### 「ふるさと納税」について

**問** ①ふるさと納税による22年度現在の寄付金額と寄付者数はどのようになっているか。

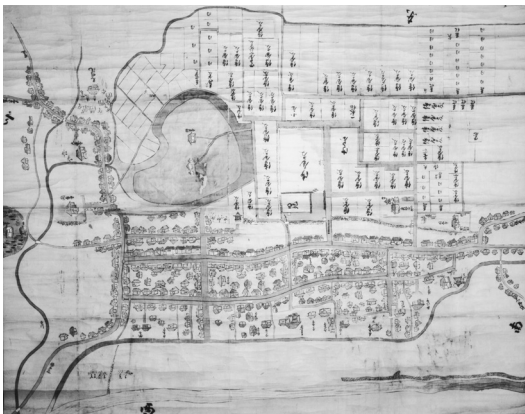
その他の質問

- ・教育環境について
- ・結婚支援について

②寄付していただいた方々の思いを生かせる制度として発展させ、使途コースの一層の充実を図り、どのような事業に活用させていただいたのかお知らせするべき。

**答** ①21年度は62件、1573万8193円。22年度が2月末現在で54件、487万5000円となっている。

②寄付をいただいた方に対しては、「ふるさと納税ありがとうパンフレット」などを作成し、目に見える形で寄付金が市の施策に生かされていることをお知らせし、感謝の気持ちをお伝えしていきたい。



元禄期勝山城下町絵図